

【地理的分野での指導展開例（第1学年）】

時間	学習活動	指導内容や指導上の留意点	資料等
導入	1 学習課題をつかむ 北方領土はどんなところなのだろうか？	○ 北方領土の位置、北海道本土からの距離、構成される島々の名前、面積の大きさを提示しながら北方領土への関心を持たせる。	地図 資料 ワークシート
展開	2 自然環境について調べる。 ・気候や地形 ・生態系や水産資源 3 北方領土での生活について調べる。 ・戦前 ・現在 4 北方領土で起きている日ロ間での漁業問題について考える。 ・銃撃、拿捕された事例 ・日ロ漁業交渉 5 ビザなし交流について知る。	○ 北海道の冷帯気候、火山や滝などの特色のある魅力を確認させる。 ○ 北海道本土と北方領土の動植物との共通点や相違点に気付かせながらとりわけ四島周辺の海域での豊富な水産資源に注目させる。 ○ 戦前は日本人の17,291人が住んでいたが、現在はロシア人だけの居住地になっており、ロシアによって整備、開発が進んでいることを伝える。 ○ 北方領土周辺海域での操業が制限され、また限られた範囲で安全操業できるために毎年、両国で交渉が続いていることに気付かせる。 ○ 元島民による墓参り等のビザなし交流を進めてきたが、ロシアによるウクライナ侵攻で現在、交流ができなくなっている。	資料 写真 ワークシート 資料 写真 ワークシート 新聞 記事 写真
まとめ	6 北方領土の地域的特色と北方領土をめぐるロシアとの領土問題について整理をする。	○ 日本の固有の領土であるのになぜロシアによる占拠が続き、漁業においても自由に操業できない状態が続いているのか歴史的な経緯について調べたいという気持ちになるようにまとめさせる。	ワークシート